

Information Magazine MUSATOKU LETTER

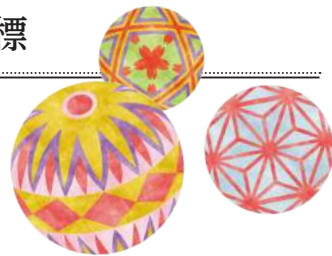
武蔵野徳洲会病院 地域密着型情報誌

1 NO.2
2018 JANUARY

新年のご挨拶と今年のご目標



新年号〈第2号〉



- 特集：整形外科「あなたの身体で今、一番痛みを感じる場所はどこですか？」
- 看護ユニフォーム紹介します！
- インフルエンザについて
- こちら放射線科
- 地域のドクター紹介



医療法人 沖縄徳洲会
武蔵野徳洲会病院
MUSASHINO TOKUSHUKAI HOSPITAL

MUSATOKU LETTER NO.2 2018 JANUARY 第2号 特集：整形外科「あなたの身体で今、一番痛みを感じる場所はどこですか？」 編集・発行 武蔵野徳洲会病院

アクセス

【車の場合】

・五日市街道「ロイヤルホスト桜堤店」を北進
・青梅街道「都立田無高・小金井公園北東角」
を目標にお越しください

【バスをご利用の場合】

- ▶西武新宿線・田無駅南口
コミュニティバス(はなバス/第3ルート)
西東京市役所田無庁舎前より
向台循環行き乗車約10分
おおぞら公園西下車すぐ目の前
- ▶JR中央線・武蔵境駅北口
関東バス(のりば5)
武蔵境駅(北口)より
ヴィーガーデン西東京行き乗車約10分
武蔵野徳洲会病院下車すぐ目の前



武蔵野徳洲会病院と田無駅南口・東小金井駅を結ぶ「無料シャトルバス」の運行を行っております。詳細はホームページをご参照ください。

武蔵野徳洲会病院は〈外国人患者受入れ拠点病院〉の認証を受けました。

2020年の東京オリンピックにむけ、約4,000万人の外国人が来日されると推定されています。訪日された外国人の患者さんが、安心して日本の医療機関を受診できる体制と通訳者を配置している病院に対して認定される制度です。当院では、中国語・台湾語・英語の話せる医療コーディネーターを専従で配置しています。現在のところ、平日月曜～金曜日の8時30分より午後5時まで対応可能です。お困りの事がありましたらご遠慮なくお問い合わせください。



☎ 042-465-0700 担当：何(か)
Weekdays・Daytime only

医療関係者向け研修会のご案内 〈イスラム圏の文化を学ぶ〉

医療関係者限定(事前申込制 資料代500円)
H30年2月27日(火) 午後5時半～

イスラム教徒はアジアに約50%の人口を占めています。日本ではイスラム圏出身の患者さんと接する機会は少ないですが、今後は病院・診療所を受診されるケースも増えてくるでしょう。イスラム圏の文化や習慣を正しく理解することなく、安心安全の医療は提供できません。今回、インドネシア出身の講師をお招きし、イスラムと日本の文化の違いや医療上必要な配慮について、「患者さんからの目線」で講義いただきます。

異文化研修会
イスラム圏の文化を学ぶ

趣旨は、2020年に訪日外国人が4,000万人超の予測を以て、外国人が安心して受診できる医療機関の体制整備も同時に進めています。今回は、お申し込みしてイスラム圏の文化を学ぶ研修会をインターネット上で開催いたします。

医療関係者限定の研修会です。ご参加を希望される方は、事前申し込みをお願いします。

日 時 平成30年2月27日(火)
午後5時30分～7時00分

会 場 武蔵野徳洲会病院 国際講堂 2F

内 容 イスラム教の基礎知識、
食事(ハラール)、
宗教上のタブー事項、
医療現場での配慮、など

参加費 千円(税込) 資料代500円/人

武蔵野徳洲会病院
Tel:042-465-0700 総機連絡 看護 山本
Tel:042-465-0700 総機連絡 山本
Fax:042-465-0700

テキストと講師の都合上、事前申し込みとさせていただきます。Eメールでお申し込みください。また、講師の都合により変更していただく場合がございます。

救急は365日24時間対応しております。

医療法人 沖縄徳洲会
武蔵野徳洲会病院
MUSASHINO TOKUSHUKAI HOSPITAL
www.musashino-hp.jp

〒188-0013
東京都西東京市向台町3-5-48
3-5-48, Mukodai-cho, Nishitokyo-city, Tokyo

- 患者さん・代表：☎042-465-0700
- 健診ドック：☎042-465-0769
- 患者さん以外：☎042-465-0792
- 地域連携室：☎042-465-0781
- In English/Chinese(Weekdays, Daytime only)
☎042-465-0700



※ナンバーリクエストの導入について
当院では発信者の確認を容易にするため、「番号通知」のお電話のみお取り次ぎしております。大変お手数ではありますが、「番号通知」にてお電話いただけますようお願いいたします。

謹賀新年 

高齢者に寄り添った医療を。



武蔵野徳洲会病院 院長
鈴木洋通
HIROMICHI SUZUKI

皆様、新年おめでとうございます。
新年を迎えるにあたり、私どもも新たな挑戦をしていきたいと考えております。開院以来、地域に密着した「かかりつけ病院」を目標として、少しずつではありますが地域の皆様に受け入れていただくことができますようになってきたと考えております。それは、健康診断の受診者及び、外来患者さんの増加にも表れております。医師数も少しずつ増えており、皆様の要望にお応えできるよう体制を着々と整えています。
さて、これから私どもは、「疾病構造の変化」「高齢化」に対応すべく「侵襲の少ないがん治療」を一つの大きな柱として皆様に貢献しようと考えています。従来、がん治療は手術療法が主流でしたが、最近では「薬物治療」「放射線治療」が着目されるようになってきています。
最新の医療技術の発展に伴い、より身体にやさしい治療が可能となりつつあります。この地域において、新しいがんに対応する2治療をここ数年以内に確立することを目指しています。さらに、当然のことではありますが、開院して以来の貴重なデータを解析し、より高齢者に寄り添った医療を目指してご満足いただける医療を展開していきたいと考えております。



看護部長 齋藤 英子

時代に対応できる看護師の育成が課題。

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。1月1日付けで武蔵野徳洲会病院に異動となりました看護部長の齋藤英子と申します。出身は東北です。埼玉県内の看護学校卒業後病院に12年勤務して東北に帰りました。はじめて徳洲会病院に就職したのは仙台です。グループ内での異動はありましたがこの度、周囲の環境もよい地で今年、4年目を迎える新しい病院で働かせていただくことになりました。早く環境に慣れて皆様の協力を得ながら質のよい看護の提供に努力してまいります。

少子高齢化の進展で医療を取り巻く環境、情勢は変化しています。病を抱えながら生活する患者さまとご家族を支援していくことが層求められるようになりました。時代に対応できる看護師の育成が課題となります。地域の方々が安心して暮らせるよう、急性期、慢性期それぞれの場で看護の役割を果たすことが大事と考えます。職員間のコミュニケーションをよくして「心のこもった看護」の提供を目指していきます。よろしく申し上げます。

投書箱のご意見は宝物です。

新年明けましておめでとうございます。

二〇一八年、3回目の新春を迎えることができました。お陰様で外来数三〇〇人、入院数一五〇人、救急搬送受入数も年間二八〇〇人を超え、ようやく地域から認知されるようになってきたかなと感じております。これは偏に地域のみなさまをはじめ、西東京市医師会、消防署、役所等の行政機関や地域の医療機関、企業等の方々のお力の賜物と感謝申し上げます。投書箱で「この病院を良くしたいから」「この病院にこれから通うから」「良くなって欲しい」「改善して欲しい」という内容のご意見を頂きます。本当にありがたいことです。ご意見を真摯に受け止め、改善を行い、地域から信頼される「かかりつけ病院」を目指し更に成長して参ります。今年には住民参加、住民管理、住民監視を謳う「健康友の会」の立上げや病院祭も企画中です。一つ一つ着実にこの武蔵野の地域に根を下ろし、地域の中核病院としての発信基地に成れば幸いです。今年もよろしくご指導の程お願い申し上げます。



事務長 新井秀樹

整形外科

あなたの身体で今、一番痛みを感じる所はどこですか？

ごあいさつ

部長 江川 誠一郎

国民生活調査において日本人の有病率ベスト5の中に「腰の痛み」「肩の痛み」「手足の痛み」の整形外科疾患3つがあるとされています。多くの人が1度は身体の痛みで悩んだ事があるのではないのでしょうか？

整形外科は大きく分けて「骨折」「関節」「脊椎」の3分野に分かれており、当院では常勤医2名、非常勤5名体制で3分野全ての多様な疾患に対し専門的な治療を行っています。特に常勤医2名のうち、関節痛に代表する「関節」分野は江川が、腰痛に代表する「脊椎」分野は金沢が得意としています。また、共に「骨折」分野に対する手術加療は年間数百例を執刀、前任の大病院・都立病院では指導医経験もある整形外科のスペシャリストです。

地域No.1の整形外科を目指して

当院の整形外科は2016年の4月に本格的にスタートしました。一般外来に加えて、救急での外傷症例を積極的に受け入れることを第一に体制を整えて参りました。

通常、骨折では受傷から手術までに数日〜1週間程度待つことも少なくありません。しかし当院では受傷後48時間以内の早急な手術実施に尽力しています。早

期に手術を行うことにより高齢者の臥床による筋力・体力低下も少なく、術後のリハビリテーションも短期間で退院までの入院期間を大幅に短縮する事が可能となりました。2017年度は1月から10月までに260件の手術実績で、今後も増加する見込みです。

また、骨折や慢性痛の原因ともなる「骨粗しょう症」の治療にも力を入れています。骨粗しょう症の治療には内服・食事療法など様々ありますが、当院では骨粗しょう症の治療薬として最も効果が高いとされているテリパラチド注射を積極的に採用しています。週1回注射を継続して行い、半年に1回骨密度検査を実施しその効果を実感して頂いています。西東京・武蔵野・小金井地域においては当院がテリパラチド使用率地域No.1です！

変形性膝関節症

当院では膝関節痛を主訴に来院される患者様が多くいらっしゃいます。関節痛の原因として最も多いのが、経年劣化による「膝関節軟骨のすり減り」です。関節には、骨と骨の間にクッションの役割を果たす関節軟骨が存在しますが、徐々にすり減っていくことで痛みが生じるようになり、最終的に骨の変形に至るこの疾患を「変形性膝関節症」と呼びます。

変形性膝関節症の治療には投薬・リハビリテーシ

丁寧で安定した治療

医長 金沢 明秀

2017年10月に武蔵野徳洲会病院に赴任いたしました。金沢明秀です。私は一般的な整形外科の診療に加え、特に脊椎疾患および救急救命領域における外傷(怪我、骨折等)の治療に従事してきました。多くの複雑な症例を担当し、その治療する過程を経験してきたことが私の治療の礎となっています。手術において私が心掛け、お約束していることは「丁寧に治療する」ということです。医療には不確実性が伴いますが、常に丁寧に症例と向き合うことで安定して良好な結果を積み重ねていき地域の医療に貢献したいと思っています。よろしくお願いたします。



整形外科医長 金沢 明秀 Akihide Kanazawa

整形外科 外来診療スケジュール

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	●	●	●	●
午後				●		

看護ユニフォーム紹介します！



看護助手

外来・病棟 看護師

OPE・CAG・透析用

元気な
ビタミンカラーの
女性用

爽やかな
印象の男性用

看護師は担当部門で
制服が変わります！



整形外科部長 江川 誠一郎
Seiichirou Egawa

ン等がありますが、それでも症状が緩和されない場合の最終手段として人工関節置換術をお奨めしています。これは年間10万人もの人が受ける非常に満足度の高い手術です。当院でも約2週間の入院でほとんど膝痛を感じない状態に回復して自宅退院される方が多いです。長年の膝痛に悩み、投薬では効果を実感出来ない方はぜひ一度当院整形外科江川の外来(火・金午前)をご受診下さい。

DEXA

骨粗しょう症の診断にとっても役に立ち、その需要は高くなっています。

当院の放射線科ではCT、MRI、マンモグラフィなどの一般的な画像診断機器に加え、その他にも様々な分野の機器を取り揃えています。それらの中で特に骨密度検査は、高齢者の割合が多い日本で近年急増する骨粗しょう症の診断にとっても役に立ち、その需要は高くなっています。骨粗しょう症は骨の強度が弱くなって、骨折しやすくなってしま病気です。骨粗しょう症の検査として、この度は骨密度検査を紹介したいと思います。

当院で行う骨密度検査は「DEXA」という方式の機器を使用しています。DEXA (Dual-Energy X-ray Absorptiometry) とは 2 種類の異なるエネルギーの X 線を使用した骨密度測定方法で、これは他の骨密度検査に比べて精度が高い検査です。X 線を使用するため、被ばく線量を気にする人もいますが、使用する X 線の量はレントゲンに比べ低く設定しています。またレントゲンにおいても使用する X 線の量は非常に少ないため、被ばくに関し

ては問題ありません。検査は仰向けで約5分間寝るだけです。非常に負担が少ない検査と言えます。当院では代表的な骨折部位とされる「腰の骨」と「股関節の骨」で検査を行っています。平均寿命が年々延びる現代の日本では丈夫で健康な体を保ち、健康寿命を延ばすことが求められています。弱くなって折れる前に自分の骨の強さはどのぐらいなのかを知り、備えていくことが非常に大切です。毎日を元気に過ごすために、一度検査を受けてみてはいかがでしょうか。



地域のドクター紹介

さいとう整形外科

診療科／整形外科・リハビリテーション科・スポーツ整形外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30	○	○	○	×	○	○
午後 3:00~ 6:30	○	○	○	×	○	△

休診日:日曜・祝日・木曜 △土曜日の午後は 2:00~5:00

住所 〒180-0021 東京都武蔵野市桜堤2-7-27 メディ・シャトル桜堤1F 電話 0422-60-3511

「さいとう整形外科」院長の齊藤毅と申します。当院では、骨折、捻挫、切り傷などの外傷をはじめ、肩こり、腰痛、関節痛、神経痛、スポーツ傷害など幅広い運動器疾患に対して、的確な診断と適切な治療をモットーに診療を行っております。治療においては特にリハビリテーションに力を入れており、充実したリハビリ機器による物理療法、リハビリの専門職である理学療法士によるマンツーマンの運動療法によって、疼痛緩和や身体機能の維持・改善を図ります。今後も、「親切・丁寧・誠実」な診療を心がけながら、地域の皆様に安心してご利用いただけるクリニックを目指し、スタッフ一同尽力して参ります。どうぞよろしくお申し込み申し上げます。

当院とも連携をして、患者様をサポートしている地域の開業医の先生です。



インフルエンザについて

感染管理医師 若杉 恵介



本年度も インフルエンザの季節がやってまいりました。すでにご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、インフルエンザを完璧に防ぐ方法はありません。基本は、なるべくかからないようにする。かかってもあわてずに、体調管理をする。人にうつさないようにするという対処の徹底しかありません。今回はインフルエンザの特徴やかかった時の対処、インフルエンザの治療についてお話ししていきたいと思ひます。

＜インフルエンザとは＞

- ・インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行が見られます。
- ・主な感染経路は、咳・くしゃみ・会話等から発生する飛沫による感染（飛沫感染）であり、ほかに飛沫の付着物に触れた手指を介した接触感染もありえます。
- ・感染後、発熱・頭痛・全身倦怠感・筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続くが、いわゆる「感冒（かぜ）症状」と比べて全身症状が強いことが特徴です。
- ・通常は 1 週間前後の経過で軽快します。

＜流行するインフルエンザの各タイプの特徴と対処＞

流行するインフルエンザは大きく分けて 3 つのタイプがあります。

① A 香港型 (H3N2)

一般的にいわゆるインフルエンザに特徴的な症状を呈します。突然の発熱・頭痛感・筋肉痛・悪寒・咽頭痛を認めます。鼻閉もあるかもしれません。大体、感染者と接触して 1-2 日で発症します。あまり発熱早期に、抗原チェックをすると「陰性」となる場合があります。1 日は様子を見ていいと思ひます。治療薬としては、タミフルでもリレンザでもイナビルでも効果があります。

② A2009H1N1

ややわかりにくいですが。数日間の鼻炎症状の後に発熱・頭痛感・腰痛などが出現します。最近ではタミフル抵抗性が多いとの報告があります。リレンザおよびイナビルの使用が望ましいです。ただし、タミフルも効果が期待できないとされております。耐性ではなく、おそらく内服時期的な問題です。通常イナビルを選択しますが、使用しても使用しなくてもあまり実感が無いのが実情です。

③ B 型のインフルエンザ

子供の症状は比較的わかりやすいですが、大人では非常にわかりにくいですが。鼻炎だけのときもあります。例年、花粉症と見分けが付きにくいですが。耐性は証明されておりませんが、一般的にタミフルはあまり効果が期待できないとされております。耐性ではなく、おそらく内服時期的な問題です。通常イナビルを選択しますが、使用しても使用しなくてもあまり実感が無いのが実情です。

＜インフルエンザの治療について＞

抗インフルエンザ薬の働きはそんなに重要ではありません。タミフルにせよイナビルにせよインフルエンザの動きを抑えて症状を緩和するのが役目です。インフルエンザウイルスを直接攻撃しているわけではないです。もちろん、体感できる治療効果として、治療後の倦怠感などは軽減されます。

解熱鎮痛剤は、基本的にはアセトアミノフェン（カロナール® など）が推奨されます。ポンタール® やボルタレン® などは強力な解熱鎮痛効果は期待されますが、小児期・青年期に服用されるとライ症候群と呼ばれる、急性脳症・肝障害を引き起こす可能性があります。ロキソニン® は機序的には可能性が指摘されておりますが、併発の報告がなく、成人においては許容されます。最近では市販薬に類似成分が多くありますので 18 歳未満の患者様は服用に注意してください。ただし、これらの解熱

鎮痛剤の使用は治療につながるわけではなく症状の緩和が主体です。

抗菌薬の併用は、一部の患者において推奨されます。気道疾患をお持ちの方と糖尿病の患者様（特に DPP4 阻害剤を使用している方）です。インフルエンザの死亡率を左右するのは合併感染です。これらを制御することは重要と判断されます。ウイルス疾患なのに抗菌薬使用は理論的には矛盾しますが、併用事態は患者様の状況によっては必要です。一般的には、気道への移行のいいマクロライド系抗菌薬クラリス® ジスロマック® が使用されますが、この系統の薬は抗不整脈薬や抗痙攣薬等の血中濃度を変化させるので、現在服用されている薬は必ずお知らせください。

＜インフルエンザ肺炎・インフルエンザ脳症について＞

合併症として非常に恐ろしいですが、非常に稀です。外来で発症を心配する方がおりますが、多くは急性発症（呼吸困難・チアノーゼ・痙攣・意識障害など）ですので悩むよりも発症が先です。外来での問題というよりも救急の現場での問題となります。

気管支喘息の患者さんについて

インフルエンザに感染すると、発熱よりも先に喘息発作が起きる方が見られます。12 月から 3 月の発作が見られたときは、喘息の治療だけでなく、インフルエンザの事も念頭に対処すべきです。主治医に申し出てみてください。

＜インフルエンザの対処＞

- ・感染したかもしれないと思ってもあまりあわてない。
- ・すぐ体調が悪い時は、病院に連絡してから受診する。
- ・環境の湿度をある程度保つ。35-50%
- ・暖かい環境で過ごす。（外出を控える）
- ・感染者にむやみに近づかない。（特に病院）
- ・咳やしぶきを人に向かってばら撒かない。
- ・熱が出てあまりあわてない。
- ・栄養の補給をしっかり行う。
- ・体調が悪ければゆっくり休む。
- ・ムリをしない。

以上、注意点をまとめました。ご参考にしていただければ幸いです。最後に、肺炎球菌ワクチンについてもほんの少し説明したいと思います。

＜肺炎球菌ワクチンの接種について＞

インフルエンザのワクチンよりもインフルエンザに罹った時に死亡率低下効果が高いのが肺炎球菌ワクチンです。インフルエンザと肺炎球菌の共感染は非常に毒性が強いです。肺炎球菌感染はワクチンによりかなり低減出来ます。インフルエンザのワクチンを打たれたら、是非接種してください。ただし、このワクチンには免疫賦活物質が添加されております。ワクチン後の発赤・腫脹や全身倦怠感などが、数あるワクチン中では頻度高く認められます。体調が良い時に接種してください。今までは、希望者に接種でしたが、やはり再接種は 5 年後が望ましい。

肺炎球菌ワクチンは高価ですので、かならず予約して在庫状況をご確認ください。

